

ある。荷重 500 kg

第 二 表

鑄込温度	鑄型温度に對するブリネル數			
	150	100	200	300
300	32.8	31.2	28.4	29.8
365	25.4	26.5	29.8	28.4
425	—	35.3	32.8	31.2
495	—	34.4	31.2	29.8

合金中の空隙を塞ぎ又附着をよくすると云ふのでハンマードレツシングすることが行はれるが此操作は化合物結晶を破壊し却つて悪影響を及ぼすものである。

鉛、錫合金に於ては化合物を生じない共融晶は鉛 87%、錫 13% である。13% 以上は錫の硬く脆い初晶が柔軟なる共晶の地に生ずる、16.5% 錫の合金が良く用ひられた。錫20%以上になると大きな結晶が出来て脆い合金となる、錫結晶は比重小であるから20%以下に於ても偏析を起し易く脆い部分が合金中に出来る。錫合金に於ても同様に錫 90 錫 10 合金は偏析著しいが同一なる錫と鉛との比を有し只銅を添加した錫 85%、鉛、8.5% 銅 6.5% 合金は少しも偏析が起らない。即ち銅の効果は可成著しいものである。

(武 内)

誤 正 表

鐵と鋼第十三年第一號論說「燒戻硬化の現象に關する研究」中		場 所		誤		正	
場 所		誤	正	105頁上より27行目	總面積實は 2,800萬坪	總面積實に 2,800萬坪	
10頁上より9行目	約7時間	75.0°C	約7時間	47.5°C	107頁上より10行目	中ツ郡常磐地方	中川郡常磐地方
12頁上より10行目	異狀變位大なる	異狀變位極大なる	108頁「本邦各地層の占有する面積」表中	始原層欄	14,180	14,189	
12頁上より11行目	次に減じ行	次第に減し行	同上 同 上	中生層欄	20,843	29,843	
13頁試驗鋼材の化學成分表中「ニッケル鋼」欄	P 0.013	P 0.014	同上 同 上	古火成岩層欄	44,159	44,156	
14頁上より3行目	此の場合諸種の	此の場合諸量の	110頁下より4行目	火山岩域に	火山岩地域に		
	鐵と鋼第十三年第二號論說「本邦に於ける砂鐵の分布と其地方的地質狀態に就て」中		111頁下より7行目	本州中部地方を	本州中部地方を主		
場 所	誤	正	112頁上より1~2行	安山岩地帯に嵌	安山岩地帯嵌入せ		
100頁上より19行目	35縣の9ヶ國	35縣9ヶ國	112頁下より7行目	黒雲母花崗岩の	黒雲母花崗岩)の		
100頁 同 上	(北海道)に跨り	(北海道)に跨り	114頁上より6行目	平坦	平坦		
103頁上より17-18行目	集積地なり	集積地なり	114頁上より17行目	緩波狀の地形な	緩波狀の地形をな		
103頁上より18-19行目	總面積1,44萬坪	總面積1,400萬坪	114頁上より18行目	厚2~4は寸	厚2~4寸		
103頁上より23行目	遠く本土に隔れる	遠く本土に隔れる					
	鐵鋼第十三年第二號論說「本邦に於ける砂鐵の分布と其地方的地質狀態に就て」中						
109頁「第三表 本邦砂鐵鑛區分布地帯に於ける地質狀態統計表」中			16行-19行				

第 四 期 屬(誤) 層(正)

島 岡 廣 高	根 山 島 知	沖 積 層				洪 積 層		第 三 期 層		中 生 層		古 生 層		火 成 岩 層			
		(誤)	(正)	(誤)	(正)	(誤)	(正)	(誤)	(正)	(誤)	(正)	(誤)	(正)	(誤)	(正)	(誤)	(正)
		—	7	—	—	—	8	—	1	—	3	—	10	—	172	172	
		7	—	—	—	8	—	1	—	3	—	10	—	172	12	12	
		—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	12	163	163	
		—	—	—	—	1	—	—	3	—	—	—	—	163	—	—	